

備前市事務事業評価表

事務事業名	地域情報拠点施設の整備事業		コード	01-01-17-02
			担当課・係	企画課 情報政策班
			担当者	草加 浩一
			電話	64-1812
事業実施期間	H13~			
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	情報通信		

事業について	
目的 (何のために)	市民生活の利便性向上のために、市公共施設や学校などを情報拠点として位置づけ、機能の充実に努めます。公共施設の移転に伴う対処も含む。
対象 (誰・何を対象に)	市民。 移転にあたっては、ネットワーク変更などが必要となった病院・学校などの事業担当者及び事業受託者。
内容	移転の予定やネットワーク変更の内容をヒアリングし、基幹系・情報系・公開系などネットワーク特性に併せた仕様や光ファイバー工事仕様など必要な情報をネットワーク保守業者などと協議の上で提示する。基本的に施設移転など大きな工事の場合は設計会社側の設計書への反映材料提示となる。H18は該当無し（H17は日生病院、吉永病院、伊里中学校の移転工事）。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
伊里中学校	移転	左記は終了	
日生病院	移転	左記は終了	
吉永病院	移転	左記は終了	
片上分庁舎		H19 移転予定	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	国庫補助金等		直接事業費	0	国庫補助金等	
	人件費	2,620	委託費負担		人件費	505	委託費負担	
	合計	2,620	一般財源等	2,620	合計	505	一般財源等	505

必要人員	0.30	人	0.10	人
結果指標名	移転等施設		移転等施設	
結果指標量	3		0	
単位	施設		施設	
対前年比	-		0.00%	
活動にかかるコスト	円		円	
単位当たりコスト	円		円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	情報拠点施設としての公共施設・学校の整備と安定接続。		
成果指標名	トラブル発生回数 0回	式又は説明	安定接続（H17整備の3施設は問題なし）
成果指標量	17年度 0	18年度 0	
到達目標値	0	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	18年度は施設の移転は無かったが、各施設の機能充実に努めていく必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	施設移転の場合、担当課に適切なアドバイスを出すことで、移転に係るネットワーク整備費の軽減と安定接続を図っていくことが重要である。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	スムーズな移行、安定稼働が重要である。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 教育委員会の移転（片上分庁舎）について、担当課と協議を進めている。
目標値	結果指標量	結果指標量	

総合評価	H18年度は施設の移転がなかったため、評価は高くない。19年度は教育委員会の移転が予定されているため、担当課との綿密な協議が重要となる。	評価区分 <A~E> C
------	--	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果